

エルサルバドルに住み始めて8年！

Asumi Okumura de Mendoza

私のエルサルバドルへの初めての訪問は2013年1月。そして私の大叔父は若い頃、交換留学で初めてエルサルバドルにきて、今では住み始めてもう50年。

大叔父が日本へ一時帰国する際には家族で集まり、食卓を共にしたり、楽しい一時を過ごしたのを覚えている。幼かった私は、エルサルバドルという未知の国にとっても興味があり、どのような国かと質問攻めであった。他国の言語について興味を持ち始めたのはこの頃かと思う。一時帰国の際に大叔父に、「エルサルバドルに遊びに行きたい？」と毎回きかれる質問に、私は元気よく返事をしていました。

時はたち、私は大学の卒業を手前に、大叔父からエルサルバドルへの招待を受け、1ヶ月お世話になった。

旅行が決まってからはエルサルバドルの情報収集を始めたが、街中の画像やビデオがインターネット上で中々見つからず、本屋へ向かうことにした。中南米の地球の歩きかたを発見し、パラパラとページをめくり探したエルサルバドル、「あれ、ない...」。次は目次から探し見つかったページ、何と3、4ページほどの情報のみ。本屋には申し訳なかったが立ち読みをし、購入を断念した。その時の私の勝手な想像は、暑い国で、道なんかには牛やらヤギが歩いているのだろうというものだった。そんなおかしな想像は、今となってはエルサルバドル人の夫と毎回思い出し、笑い話となる。

十分な情報もないままエルサルバドルへと到着し、生活をしてみて思ったこと、

- ほとんどの人が初めて会ったとは思えないくらいフレンドリー！

国柄か、陽気な気質の人が多い気がする。スーパーや、街中のレジ待ちの際にも、軽く話が弾んじゃうくらい。

- 気候はわりとカラッとして過ごしやすい。

朝、夜は少し冷え込む感じで、昼間は気温も30℃ほどになり、汗をかくこともある。日本の夏のようなジメジメ感はないのでわりと過ごしやすい。

5月から10月までは雨季が続く。日本の梅雨のように1日中降り続くことは少なく、夕方にスコールのような激しい雨が降り始め、短時間で止むことがほとんど。今年2021年は特に降水量も多く、土砂崩れなどの被害がでた。

- 日本では食べたことのない果物や野菜がたくさん。

Flor de Izote(フロル・デ・イソテ)はエルサルバドルの国花とも知られ、卵と一緒に炒めて朝食に食べることが多い。味は少しほろ苦く、日本のゴーヤを思い出す。





- サン・サルバドル市は想像(道には牛やらヤギ有)とは程遠い都会！

スーパーはもちろん、大きなショッピングモール、公園、お洒落なカフェやレストラン、日本でも見慣れたチェーンの飲食店、私の想像していたエルサルバドルが申し訳なくなるくらい、都会でした。



- 市内から海や山までは 30 分ととても近い。

一年を通して熱帯気候のエルサルバドルには欠かせない、プール、海、山！サン・サルバドル市にはいくつものプール付きの施設や、市内から 30 分ほどで行ける海辺など、週末にはもってこいな場所がたくさん！市内からは少し時間がかかるが、山もオススメ。最近の話になるが、サンタアナへの家族旅行は子供たちも含め大満足！セロ・ベルデ近くの山にある、イグルーの形をしたホテルに滞在した。部屋にはキッチンや、バーベキューセットもあり、食材を持参し、夜はバーベキューを楽しんだ。朝は目の前に大きく見えるイサルコ山を共に、朝食を楽しんだ。



●エルサルバドル料理おいしい。

エルサルバドルを代表するププサは、日本で言うお焼きのような、トウモロコシ粉や米粉の生地で、豆のペースト、チーズ、豚肉などを包み、平べったくして焼いたもの。ププサを販売している食堂やレストランは身近に多くあり、お店によって作られたオリジナルのププサはいろんな具材が味わえてまた美味しい。また 11 月にはププサの日があり、コロナ禍前には、巨大なププサを大人数で焼くこともあった。



●世界各国の素敵なレストラン多い！

1ヶ月の間多くのレストランにも連れていってもらいました。外観からは分からないような隠れ家的なおしゃれなレストラン、イタリア料理、中華料理、インド料理、アラブ料理、ギリシャ料理、多国の料理を味わうことができました。今ではまたいろんなレストランが増え、週末には家族でデリバリーをしたり、レストランに出向いたりしています。



大叔父に招待してもらった1ヶ月のエルサルバドル滞在はとても濃厚で、あっという間に過ぎていきました。私の想像を覆したエルサルバドル、大学を卒業し、日本で1年ほど仕事をした後 2014年には再度エルサルバドルへ！現在のエルサルバドル人の夫との生活を始め、2016年に結婚。2017年には、私の家族が同席出来なかったため、日本で、私の友

人含め小さな結婚式を行いました。その年には息子を授かり、今では娘とフレンチブルドックのゴマ含めて5人家族です。

そして、2014年に再度エルサルバドルに来てからは、大叔父から継いだ日本料理レストラン(かまくら)を夫と経営しています。中南米でも日本食に興味がある人は多く、お寿司やラーメンは大人気です。エルサルバドルへ来られる際は、ぜひ立ち寄ってみてください！

治安問題など不安な面はありますが、素敵な面をたくさん持ったエルサルバドル共和国、これからもたくさんの人たちに知ってもらい、多くの観光者が訪れることを願っています



奥村 明日実 (おくむら あすみ) 氏

2013年 エルサルバドルへ初訪問、4月に大学を卒業。2014年1月、エルサルバドルでの生活を始める。サン・サルバドル市内で日本料理レストラン「かまくら」を経営し、エルサルバドル人の夫と子供2人と暮らしている。